

ぎふ地域学校 協働活動センター

岐阜大学地域協学センター 岐阜県環境生活部 共同設置

次の事業を推進し、「地域学校協働活動」を支援します。

- 「地域学校協働活動推進員」(コーディネーター)の育成・研修
- 地域連携担当教員の研修
- 社会教育委員、公民館職員等社会教育関係者の研修
- 学生ボランティアの育成・確保
- 「地域学校協働活動」に関する調査・研究
- セミナーや出前講座への講師派遣
- 「地域学校協働本部」や「学校運営協議会」の立ち上げ・運営支援
- 学校の「ふるさと教育」の指導・助言 等

<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/gifucccs/>



「地域学校協働活動」の推進を目指して

人口減少や少子高齢化、グローバル化等の進展に伴い社会環境が大きく変化する中、地域では人びとの支え合いの希薄化、孤立化、教育力の低下等が進んでいます。その一方で、カリキュラム・マネジメントの観点から「社会に開かれた教育課程」の実現、アクティブ・ラーニングの積極的な導入等指導内容・方法の多様化、いじめや不登校問題、子ども貧困、教員の多忙化・働き方改革等学校が抱える課題は複雑化してきています。

地域・学校双方が抱えるこれらの課題解決に向けて、地域と学校がパートナーとして連携・協働することが必要とされています。地域と学校が組織的・継続的に連携・協働できる仕組みを構築すること、地域の高齢者、保護者、PTA、自治会、まちづくり協議会、NPO団体、民間企業等の幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動、すなわち「地域学校協働活動」を促進することが、今、まさに求められているのです。

ぎふ地域学校協働活動センターは、地域・自治体・学校における「地域学校協働活動」を支援・促進し、子どもたちの成長を地域全体で支えるとともに、活動を通じて地域の活性化を図ることを目的に、「ぎふ地域学校協働活動センター設置に関する協定」（岐阜県知事・岐阜大学長）に基づいて、岐阜県と岐阜大学の共同で設置されました。本センターと連携を深めていただき、多くの地域・自治体・学校で「地域学校協働活動」が発展的に展開されていくことを期待しています。

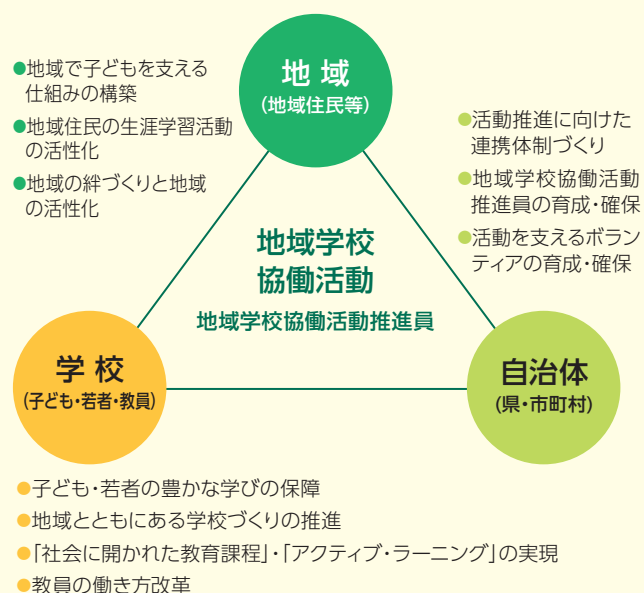


ぎふ地域学校協働活動センター長
(岐阜大学地域協学センター長)

益川 浩一

「地域学校協働活動」とは

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことを言います。例えば、これまで、地域と学校の連携・協働のもとで推進されてきた放課後子ども教室事業（子どもたちの体験活動・交流活動）や学校支援活動、地域未来塾事業（学習が遅れがちな子どもたちに対する学習支援）、外部人材を活用した土曜日の教育活動に加え、地域と学校が連携・協働して進められる子どもたちの体験学習、ふるさと教育・郷土教育、ボランティア学習、キャリア教育・職場体験活動（インターンシップ）、環境学習等も含まれます。最近では、子どもたちが地域住民とともにワークショップやフィールド調査等を行い、地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて方策を企画考案・提案し、さらにそれを実践・行動し、成果を振り返る（言語化し、対話する）「地域課題解決型学習」が各地で行われています。

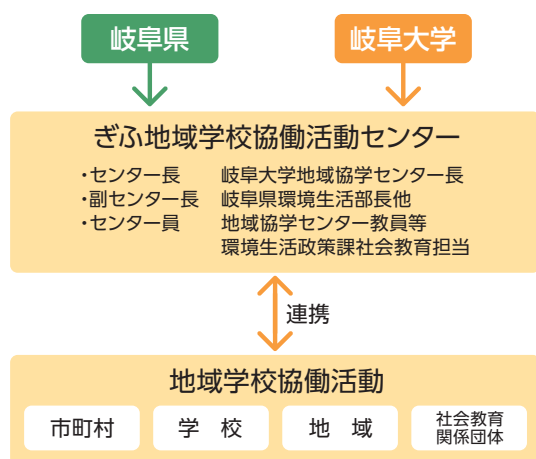


	地域活動・行事への参加	成人の学習活動・社会活動への参加
子どもたちが	● 防災訓練 ● 地域の伝統行事への参加 ● お祭りや民俗行事への参加 ● 商工会や商店街の行事への協力 ● 地域の清掃・美化活動への参加 ● ボランティア活動への参画 → 地域と学校の行事を一体化	● 郷土史の調査への参加 ● 地域ブランディング学習への参加 ● まちづくり講座への参加 ● まちづくりイベントへの参加 ● 地域志向人材の育成講座への参加 → 大人と子どもが一緒に地域・まちづくりを推進
地域住民が	● ゲストティーチャーとしての指導（教科指導、ものづくり指導、伝統芸能演習など） ● フィールド学習指導（体験学習、ふるさと教育・郷土教育、ボランティア学習、キャリア教育・職場体験、環境学習など） ● 「地域課題解決型学習」 ● 放課後子ども教室（体験・交流活動）での指導 ● 地域未来塾（学習が遅れがちな子への学修支援）での指導 ● 土曜日の教育活動の指導 → 教育活動支援と地域活性化に向けた取組	● 子どもたちの学ぶ環境醸成 ● 少人数指導の補助 ● 校外学習の引率 ● 通学安全指導 ● 学内外パトロール ● 施設・設備の補修 ● 草取り・落ち葉掃き、学校施設の清掃 → 子どもたちの学習環境の整備

(廣瀬隆人 作成資料：2019年6月6日 ぎふ地域学校協働活動センター主催
「地域学校協働活動推進員等育成研修」配付資料を基に、加筆・修正)

「ぎふ地域学校協働活動センター」運営体制

運 営 体 制



事 業 内 容

人材育成・確保

(1) 地域学校協働活動推進員の育成・確保

市町村や社会教育関係団体と連携し、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）などを育成する研修を実施

(2) 学生ボランティアの育成・確保

県内の大学生を対象として、学習支援・体験等の活動支援ボランティアを募集し、実践活動とのマッチングなどを実施

調査研究

市町村や社会教育関係団体と連携し、協働活動や家庭教育等の先進性・モデル性のある実践事例等の調査研究を実施し、セミナーや研修会等で発表・報告

普及促進

出前講座やワークショップに参画するなど市町村における推進体制づくりを支援するとともに、実践活動の促進に向けた普及イベント等を開催

「地域学校協働推進員等育成研修」

目的 地域学校協働活動推進員等の職務に係る知識・技能の習得及び事業推進に向けた資質の向上

対象 市町村からの推薦者（今後推進員として委嘱予定の者）や学校運営協議会委員や地域学校協働活動等で活躍している者40名

日程 3時間×4回 13時30分～16時30分

会場 主会場：岐阜大学サテライトキャンパス（JR岐阜駅前）／サテライト会場（テレビ会議システム接続）：恵那総合庁舎 飛騨総合庁舎

第1回 地域学校協働活動に関する基礎知識を学ぶ。（講義＋質疑応答（演習））
子どもを取りまく現状から、地域と学校の連携・協働の意義や取組を知る。

第2回 地域学校協働活動の企画・立案方法を学ぶ。（講義＋質疑応答（演習））
地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の実施に向けて、活動プランの企画・立案手法を習得し、プランを設計する上での留意点を学ぶ。

第3回 地域学校協働活動の実際を学び、地域学校協働活動推進員の使命や役割を理解する。（講義＋質疑応答（演習））
先進地における地域学校協働活動推進員等の活動や地域と学校の連携・協働のあり方を学び、地域学校協働活動の実際を理解するとともに、推進員の役割や使命を考究する。

第4回 現代の子どもの特徴や子どもとの関わり方を学ぶとともに、研修の振り返りを行う。（講義＋演習）
地域学校協働活動の実施に向けて、子どもの特徴や子どもとの関わり方を学ぶ。
受講生同士が研修の振り返りを行うとともに、情報交流を行い、受講生同士のネットワークづくりを進める。

修了認定 全回出席が原則。受講修了者にはレポート作成を課し、合格者に修了認定を行う。また、認定者には、「岐阜県地域学校協働推進員等講習修了証」を交付するとともに、市町村から地域学校協働推進員等への委嘱を行う。

※各地域からの参加を促進するため、東濃（恵那総合庁舎）、飛騨（飛騨総合庁舎）地域はサテライト会場で実施する（第1～3回）。第4回は、全ての受講者が主会場（岐阜大学サテライトキャンパス（JR岐阜駅前））に参集。





ぎふ地域学校協働活動センター（岐阜大学地域協学センター内）

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

TEL.058-293-3880 FAX.058-293-3881

<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/gifucccs/>